中外雑記

真言

一回大会が「昨年の長谷寺での五十周年大会を経て、大きな区切りへ歩みが八月二十五日、大本山護国寺と宗務所を会場に開催され、宗派の幼稚園・保育園の教職員約百二十人が参加した。開会式は大本山護国寺本堂で行なわれ、豊山派保育連合会総裁である鳥居慎晴管長が導師を勤めた。垂示で鳥居管長はこの第五十回大会が出ていないか」と問い掛け、「子どもたちのため、皆さん方の努力をお願い申し上げる」と述べた上で、「仏教園・保育園が表して鳥居管長から賞状を授与された▽開会式後は会場を宗務所内に移し、研修が行なわれた。仏教講話として筑波大学名誉教授で曹洞宗天徳院住職の大蔵正哉氏が「心静かに心を見る―ものの いのちをたいせつに」をテーマに講演した。大蔵氏は最初に人間の身体を形づくる細胞とその中にある遺伝子について、すべての生きものの遺伝子は共通した四つの塩基の組み合わせで成り立っており、全部の生きものがつながって生きていること、また人体の七割は水分であり、飲んだ水と身体の区別はできなくなることなどを「水いる毎日が苦しみを除き、福を呼び込む」と述べた▽そのほか諸機関光道の向上発展と奨励を目的に「成田山学童席上揮毫大会」を十月十四日、年ごとに課題が設けられている。成績発表は十月下旬、同別院の寺報「名古屋成田山」十月号と「中日新聞」紙上で行なわれる。さらに表彰式を十一月十八日午前十時から同別院信徒会館一階ホールで開催する。問い合わせは同別院＝電話〇五六八（六一）二五八三（代）＝まで。

●豊山派 豊山保育大会が八月二十五日、大本山護国寺と宗務所を会場に開催され、宗派の幼稚園・保育園の教職員約百二十人が参加した。開会式は大本山護国寺本堂で行なわれ、豊山派保育連合会総裁である鳥居慎晴管長が導師を勤めた。垂示で鳥居管長はこの第五十回大会が出ていないか」と問い掛け、「子どもたちのため、皆さん方の努力をお願い申し上げる」と述べた上で、「仏教園・保育園が表して鳥居管長から賞状を授与された▽開会式後は会場を宗務所内に移し、研修が行なわれた。仏教講話として筑波大学名誉教授で曹洞宗天徳院住職の大蔵正哉氏が「心静かに心を見る―ものの いのちをたいせつに」をテーマに講演した。大蔵氏は最初に人間の身体を形づくる細胞とその中にある遺伝子について、すべての生きものの遺伝子は共通した四つの塩基の組み合わせで成り立っており、全部の生きものがつながって生きていること、また人体の七割は水分であり、飲んだ水と身体の区別はできなくなることなどを「水いる毎日が苦しみを除き、福を呼び込む」と述べた▽そのほか諸機関光道の向上発展と奨励を目的に「成田山学童席上揮毫大会」を十月十四日、年ごとに課題が設けられている。成績発表は十月下旬、同別院の寺報「名古屋成田山」十月号と「中日新聞」紙上で行なわれる。さらに表彰式を十一月十八日午前十時から同別院信徒会館一階ホールで開催する。問い合わせは同別院＝電話〇五六八（六一）二五八三（代）＝まで。

●豊山派 豊山保育大会が八月二十五日、大本山護国寺と宗務所を会場に開催され、宗派の幼稚園・保育園の教職員約百二十人が参加した。開会式は大本山護国寺本堂で行なわれ、豊山派保育連合会総裁である鳥居慎晴管長が導師を勤めた。垂示で鳥居管長はこの第五十回大会を経て、大きな区切りへ歩みを踏み出した」大会であると位置付け、現在、子どもをめぐり事件が相次ぎ、少子化が進む環境を「仏教徒、人間として不幸に思う」、「地球上のいのちあるものは子どもは宝」の法案を提案、後を継ぐものが国会で成立し、十月から施行されることに触れ、「仏教園・保育園が表して鳥居管長から賞状を授与された▽開会式後は会場を宗務所内に移し、研修が行なわれた。仏教講話として筑波大学名誉教授で曹洞宗天徳院住職の大蔵正哉氏が「心静かに心を見る―ものの いのちをたいせつに」をテーマに講演した。大蔵氏は最初に人間の身体を形づくる細胞とその中にある遺伝子について、すべての生きものの遺伝子は共通した四つの塩基の組み合わせで成り立っており、全部の生きものがつながって生きていること、また人体の七割は水分であり、飲んだ水と身体の区別はできなくなることなどを「水いる毎日が苦しみを除き、福を呼び込む」と述べた▽そのほか諸機関光道の向上発展と奨励を目的に「成田山学童席上揮毫大会」を十月十四日、年ごとに課題が設けられている。成績発表は十月下旬、同別院の寺報「名古屋成田山」十月号と「中日新聞」紙上で行なわれる。さらに表彰式を十一月十八日午前十時から同別院信徒会館一階ホールで開催する。問い合わせは同別院＝電話〇五六八（六一）二五八三（代）＝まで。

これで一つになれる。子どもたちを集めてしっかりした保育をしていかなければならない。先生方には仏教保育とはどういうことか、子どもの保育とはどういうことか、答えてもらいたい」と述べた＝写真（右は鳥居管長）。引き続き永年勤続表彰が行なわれ、十年以上勤続の十一人から中代幼稚園の大塚栄子教諭、五年以上の勤続者二十二人から北川口幼稚園の井川展子教諭がそれぞれ代表して鳥居管長から賞状を授与された▽開会式後は会場を宗務所内に移し、研修が行なわれた。仏教講話として筑波大学名誉教授で曹洞宗天徳院住職の大蔵正哉氏が「心静かに心を見る―ものの いのちをたいせつに」をテーマに講演した。大蔵氏は最初に人間の身体を形づくる細胞とその中にある遺伝子について、すべての生きものの遺伝子は共通した四つの塩基の組み合わせで成り立っており、全部の生きものがつながって生きていること、また人体の七割は水分であり、飲んだ水と身体の区別はできなくなることなどを「水いる毎日が苦しみを除き、福を呼び込む」と述べた▽そのほか諸機関光道の向上発展と奨励を目的に「成田山学童席上揮毫大会」を十月十四日、年ごとに課題が設けられている。成績発表は十月下旬、同別院の寺報「名古屋成田山」十月号と「中日新聞」紙上で行なわれる。さらに表彰式を十一月十八日午前十時から同別院信徒会館一階ホールで開催する。問い合わせは同別院＝電話〇五六八（六一）二五八三（代）＝まで。

●高野山 庄野光昭内局初の宗会となった第百二十九次秋季宗会（中井公雄議長）が十三、十四の両日、総本山宗務所で開かれた（3面参照）。初日の質疑応答で活発に意見が交換され、二日目は委員会に議案が付託され、財政の健全化を図り、財政の健全化を目指す」と挨拶した。まずは同総長が掲げる五つの基本方針と七つの公約の実現に向かって進む意向を示した宗会だったようだ▽今後は宗務所の機構改革を進め、各課の編成を見直してスリム化を図るなども新しい方針だろう。また、次の春季宗会で明らかにされるようだが、公約の「財政」の一つに「恒久基金、災害復興基金、大法会積立金公開性ある内局に

勢を認めていただけると思う。今後も宗団と寺院との連帯感を強めていきたい」と挨拶した。まずは同総長が掲げる五つの基本方針と七つの公約の実現に向かって進む意向を示した宗会だったようだ▽今後は宗務所の機構改革を進め、各課の編成を見直してスリム化を図るなども新しい方針だろう。また、次の春季宗会で明らかにされるようだが、公約の「財政」の一つに「恒久基金、災害復興基金、大法会積立金公開性ある内局に

を目的に寺院・教会に基礎負担金の拠出を求め、基金の確保を目指す」と挨拶した。同基金について、今宗会の質疑応答で庄野光昭宗務総長は現行の賦課金にプラスして拠出を求める意向を示した。財源の確保と財政の健全化は、庄野内局にとって重要課題といえそうだ。火災共済への全寺院加入も目標の一つにしている。庄野宗務総長は「何事をするにも大事なことは内局会にすべて諮っており、各部長に権限と責任を持ってもらっている。公開性のある内局として取り組んでいきたい」と語っている▽今宗会の委員会構成は次の通り（敬称略）。

進委員＝四之宮弘孝委員長、渡邊公雄、近藤本浮。特別委員会＝藤原

傳委員長ほか十二人。宗務部予算委員会＝池部公秋委員長ほか十人。本山厳大本山宝寿院門主を大阿に「大日経疏伝」があり、大教室が受講者で満席となった＝写真。今回が第三会となる。第四会は来年二月八日～九日。松長門主は十一月十五日、総本山金剛峯寺座主として入山するが、同講伝については終了まで行なうという。

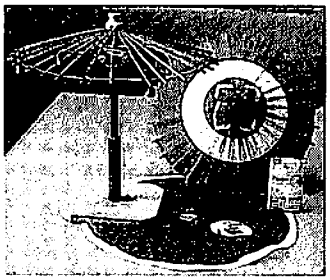
松長氏を大阿に嗣伝

▽京都の種智院大学で十三、十四の両日、松長有厳大本山宝寿院門主を大阿に「大日経疏伝」があり、大教室が受講者で満席となった＝写真。今回が第三会となる。第四会は来年二月八日～九日。松長門主は十一月十五日、総本山金剛峯寺座主として入山するが、同講伝については終了まで行なうという。

神社界

三井氏が刑事告訴

司が地位保全の仮処分を申請したことから、問題が司法の場に移った石川県羽咋市の気多神社の宮司職（2面参照）。十一日に特任宮司の原見益樹石川県神社庁長らが強硬に神社建物内に立ち入った件について、三井秀夫前宮司は同社ホームページ上で、十二日に羽咋警察署に住居侵入及び不退去で刑事告訴、十三日には金沢地方裁判所に対し、原見特任宮司が同社へ立ち入らないよう占有使用妨害禁止等の仮処分を申請したと公表。三井氏は今回の原見氏側の動きを「言語道断の違法行為」と非難している。三井氏の一連の動きに対らは協力したいとの声や、三井氏を非難する意見が寄せられている」としている▽石川県神社庁は「今回の件が報道されて以来、崇敬者から人に知ってもらおうと「ミニ和傘作り体験工房」を開講している▽和傘作り体験の工程は①あらかじめ用意された骨組みに和紙を貼る。和紙は十種類（金魚や月うさぎ、蛇の目、さくらなど）から好みの柄を選択可能の和紙を乾燥させる間、和傘の歴史の解説と工房見学③傘をたたみ、かっぱ（先端にある頭巾）をつける。写真は骨組みと和紙、完成品▽参加は予約制。一人でも申し込める「二〇〇六京都まつり」で、傘貼り体験を行なう。和太鼓ライブや物産展、大バザールなども催される。参加料は一般千五百円、高校生以下は無料。「ミニ和傘作り体験工房」などについての問い合わせは同社＝電話〇七五（四四一）六六四四（代）＝まで。



実業

ミニ和傘作り体験

●㈱日吉屋 和傘などの製造販売を手掛け、茶道裏表両千家御用達の同社（西堀耕太郎社長、京都市上京区寺之内通堀川東入）は八月から、和傘のことをもっとたくさんの人に知ってもらおうと「ミニ和傘作り体験工房」を開講している▽和傘作り体験の工程は①あらかじめ用意された骨組みに和紙を貼る。和紙は十種類（金魚や月うさぎ、蛇の目、さくらなど）から好みの柄を選択可能の和紙を乾燥させる間、和傘の歴史の解説と工房見学③傘をたたみ、かっぱ（先端にある頭巾）をつける。写真は骨組みと和紙、完成品▽参加は予約制。一人でも申し込める「二〇〇六京都まつり」で、傘貼り体験を行なう。和太鼓ライブや物産展、大バザールなども催される。参加料は一般千五百円、高校生以下は無料。「ミニ和傘作り体験工房」などについての問い合わせは同社＝電話〇七五（四四一）六六四四（代）＝まで。

扇子・中啓
京扇堂
京都市下京区五条通東洞院東入
〇七五（三四二）一四一二
京都市中京区六角通烏丸東入
〇七五（二一）六九九一〇〇四六

学童席上揮毫大会

●智山派 大本山成田山

時のひと言

雨垂い水や醤油使

金光教那覇教会長 林 雅信

沖縄には「アマダイミジヤソーユージケー」という素敵な諺があります。漢字で書くと「雨垂い水や醤油使」となります。

水のそしく、水で苦労してきた沖縄で自然と生まれた諺で、その意味は「例え雨水でも、当時としても貴重だったお醤油を使うように大切に使って節水に心掛けよう」という教えです。

私は、この諺に込められた心が、現代に生きるすべてを大切に。そうすれば、争いや辱かされ、この諺のような生き方ができれば、世界は実に素晴らしいことになるだろうと常日頃から思っております。人を大切に。自分を大切に。そして物や自然、

●懲戒免職となった前宮